



USAID
FROM THE AMERICAN PEOPLE



TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

Reducing Opportunities for Unlawful Transport of Endangered Species (ROUTES)

空港トレーニングハンドブック：
野生生物の不正取引撲滅のため
法執行機関を支援する輸送担当職員の
能力向上に向けて



個人情報

氏名:

所属:

電話番号:

メールアドレス:

米国国際開発庁(USAID)による「絶滅のおそれのある種の違法な輸送削減に関する取り組み(ROUTES)」パートナーシップは、野生生物の不正取引を阻止するために、輸送・物流企業、政府機関、国際協力機関、法執行当局、保全団体、学界そして資金提供者をまとめ、世界規模で展開される野生生物の密猟や関連犯罪活動に対処することを目的として、国際的な協調体制を形成しています。

ROUTESの中心には、国際空港評議会(ACI)、先進国防研究センター(C4ADS)、国際航空運送協会(IATA)、TRAFFIC、WWFを含む、米国政府と輸送業界が協力する中核グループがあります。

本ハンドブックは、TRAFFICとFreelandにより構築されたUSAID ROUTESパートナーシップの資料を翻訳したものです。内容についてはTRAFFICが責任を負い、必ずしもUSAIDや米国政府、またはROUTESパートナーの見解を反映しているものではありません。

日本語翻訳版作成は、ANAホールディングス株式会社の支援により実現しました。

野生生物不正取引の概要

野生生物不正取引に関する空港トレーニングハンドブック

野生動植物の違法取引により多くの種が絶滅に追い込まれている。取引額は毎年数兆円にも上り、世界で最も利益の上がる犯罪市場のひとつとなっている。

組織犯罪シンジケートは、民間輸送事業者を利用して野生生物を供給地から市場に運ぶ。野生生物は乗客、積荷、郵送、クーリエ便によって密輸されており、輸送セクターに重大なリスクをもたらす。

野生生物の不正取引は種の存続を脅かすだけではない。病気をまん延させ、汚職に拍車をかけ、組織犯罪活動を後押しし、混乱を促し、環境を悪化させる。

野生生物の密猟の勢いは衰えを知らず、世界規模の需要の拡大により拍車がかかっている。野生生物は、生体、死体、そして部位、派生品の形で不正に取引される。

ROUTESパートナーシップは、法的な輸送供給網の利用を縮小させて野生生物の不正取引を阻止することを目指し、5つの目標の実現に尽力する：

根拠に基づいた集中的な活動のために、旅客・貨物の経路における野生生物の不正取引に関するデータ及び分析を向上させること；

野生生物の不正取引撲滅に対する共同の取り組みに企業の幹部を引き入れること；

野生生物の不正取引撲滅のため法執行機関を支援する輸送担当職員の能力を向上させること；

野生生物の不正取引について関連する業界の基準や協定に取り入れること；

野生生物の不正取引問題について乗客やクライアントの意識を高めること



世界的なホットスポット 輸送網

いかなる場所も野生生物の密輸の脅威から逃れられない。密輸はどの空港でもどの航空路線でも発生する可能性がある。しかし他と比べてより脆弱な輸送網やルートがある。

象牙や犀角は東アフリカの空港からアジアに向けて、淡水ガメは南アジアから東南アジアに向けて取引され、珍しい鳥類や爬虫類は米国や欧州の需要を満たすためにさまざまな場所から輸送される。密輸業者は、ある方法やルートを使って捕まると、発覚を免れるため手口を変える。

ホットスポット空港

ADD	KMG
ATL	KUL
BKK	LAX
CAN	LHR
CDG	LLW
CGK	MPM
GRU	NBO
HAN	NNG
HKG	SIN
ICN	SGN
JFK	
JNB	



一般的な不正取引ルート

よく使われる野生生物の
不正な国際取引の飛行ルート



一般的な密輸テクニック



CITES

どの国にも特定の種を保護する法律があり、自国内で発生した事例に対処しているが、世界で最も絶滅の危機に瀕している種の多くについて、国際的規制においても国際取引を規定している。

CITES（絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約）は、国際的な取引が野生生物の存続を脅かさないようにすることを保証する政府間協定である。180以上の国と地域が参加している。

CITES掲載種を輸入、輸出、再輸出する者は誰でも許可を得、国境を越える際に許可書を提示しなければならない。

CITESは35,000以上の野生動植物の国際取引を規制している。これらの野生動植物は個々の種の取引に適用される規制管理のレベルに応じて、3つの附属書のいずれかに掲載されている。



3枚の写真はCITES掲載種の例である。
正しい許可があれば
合法的に取引する
ことができる。

附屬書 I

附屬書I

絶滅の危機に瀕している種。商取引が許可されることはない。

II

附屬書II

取引が管理されなければ危機に瀕する可能性のある種。附屬書I及び附屬書IIに掲載されている種に似た種群も含まれる。

III

附屬書III

国際取引によって危機に瀕している種を自国内で保護するために他国の協力が必要と考える国は、当該種を附屬書IIIに掲載することができる。

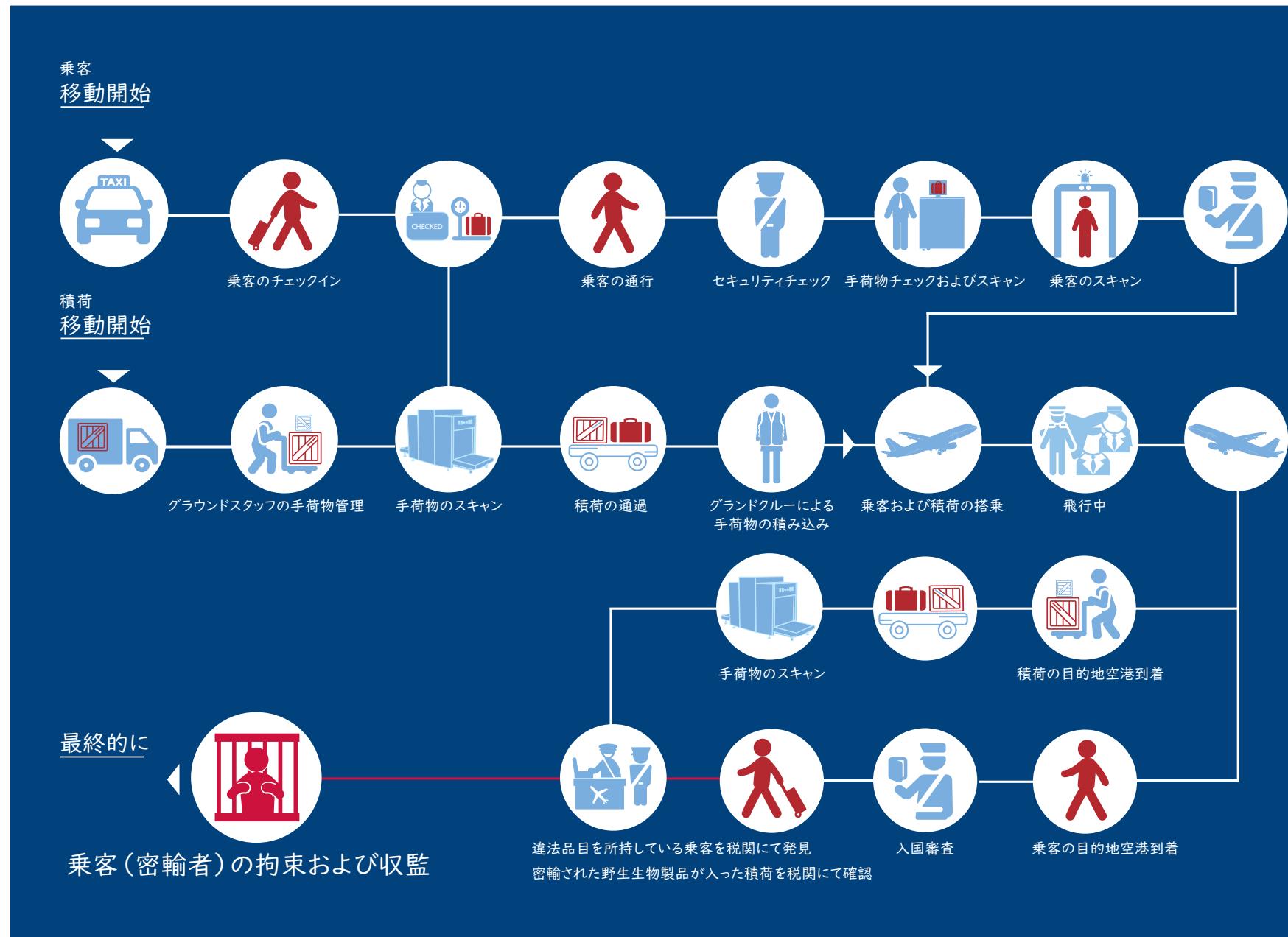
密輸者の追跡

空港



密輸者が航空輸送を利用する場合、野生生物の取引は主に2つのコースを辿る。乗客により(また、手荷物として)運ばれるか、積荷として運ばれるのである。いずれのコースにも発見や阻止のチャンスは多くある。

密輸者は空港警備を回避しようとする。それを可能にするために内部に支援者がいる場合もある。



密輸者の追跡

不審な行動を監視、見破り、通報するために、目（視覚）・鼻（嗅覚）・耳（聴覚）を使って注意できること



不適切な衣服

気候に合わない衣服
ぶかぶかの衣服
職業に合わない衣服



無意識の反応

発汗、口の渇き、瞳孔の拡大
アイコンタクトを避ける
かすれ声／咳払い、緊張
震えやひきつり



神経質な身体の動きや話し方

衣服やアクセサリーを整える
早口でしゃべる
反応が遅い
質問を繰り返す



五感を働かせる

異様な臭い
動物の声や音
荷物や衣服の中の動き

注意すべきことは



チェックイン

複雑なルートや乗り継ぎ
異様な臭いの荷物



セキュリティ

大きすぎる衣服
気候に合わない衣服
何回もの乗り継ぎをする搭乗券



X線技師

異様な臭いや動き
予想とは異なる中身
スキャンで映し出される有機物や象牙



入国管理

非常に短期間の旅行のために、
-最近取得した、特定の国への複数ビザ
-複雑な旅行ルート
神経質な様子の乗客



貨物取扱者

貨物の出所と中身が相応しない
-カナダからバナナ
-アフリカからヒスイの原石など
必要がないのに容器に空気穴がある



グラウンドスタッフ

手荷物／積荷の動き
手荷物／積荷の臭い
手荷物／積荷からの物音
複雑なルート／複数の乗り継ぎタグ



フライトクルー

次のような乗客
食べたり動いたりしない
非常に神経質になっている
異様な臭いがする
ぶかぶかの衣服を着ている



税関

空港職員からの内報に基づいて行動
既知の密輸ルート
再三にわたるチェック
乗客と小さなバッグをチェック

身を守る

不正に取引される動物を取り扱うリスク

不正に取引される野生生物に遭遇した場合は注意を払い、自分自身や他の人を不必要な危険にさらしてはならない。取引される動物はストレスを感じていることが多く、危害を加えることはないと思われる動物でも身を守るために攻撃してくる可能性がある。取引される野生生物に触ることは避け、専門家に任せること。

リスク

動物は危険である／毒を持っている／毒を出す／病気を持っている可性がある
動物に触れるのを避ける

専門家を呼ぶ

常に個人用保護具を着用する

衛生および殺菌状態を保つ

安全装具

安全装具で身を守り、手荷物や野生動物を扱う際は常に気をつける



24 ヘビ類



25 ネコ科の動物



26 コウモリ



27 灵長類



28 小型肉食動物



29 鳥類

危険度の高い動物の例

動物は病気を持っている

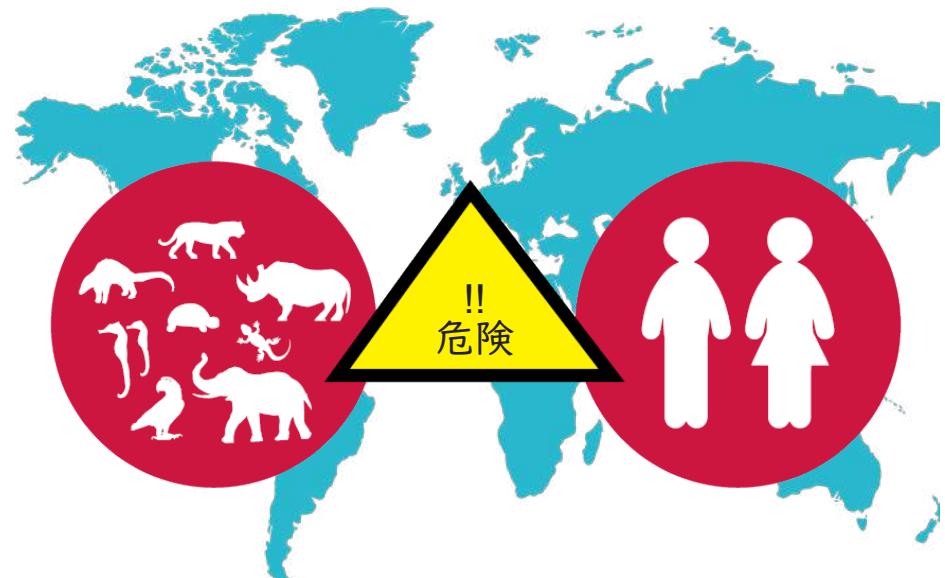
動物から人間に感染する病気がある

たとえば狂犬病、エボラ、西ナイルウイルス、鳥インフルエンザ、豚インフルエンザ、SARS（重症急性呼吸器症候群）などである。近年発生し、人間に影響を及ぼした感染症のおよそ75%が動物由来であることが知られている。

病気は生きた動物や動物の肉などの製品を介して感染する。いかなる動物も病気を媒介する可能性があるが、他より危険度の高い動物がいる。

以下の動物は病気の危険度が高い：

靈長類（サル及び類人猿）、齧歯類（ラット及びマウス）、
肉食動物（ジャコウネコ及びネコ）、鳥類、爬虫類（リクガメ・淡水ガメ）



Source: GAO analysis of USGS data (data); Art Explosion (images).

野生生物が媒介する病気

- ・ 狂犬病
- ・ エボラ
- ・ SARS（重症急性呼吸器症候群）
- ・ MERS（中東呼吸器症候群）
- ・ 結核
- ・ 炭疽
- ・ ペスト
- ・ サルモネラ菌
- ・ ライム病
- ・ サル痘
- ・ ハンタウイルス
- ・ 西ナイルウイルス
- ・ 野兎病
- ・ 鳥インフルエンザ
- ・ ブルセラ症

野生生物犯罪を通報する

果たすべき役割

航空会社や空港、法執行機関を問わず、航空セクターで働いている人には誰でも、野生生物不正取引の阻止において果たすべき役割がある。不審なものを何か目撃した場合は、通報すること。一丸となって取り組めば、野生生物の違法取引をなくすことができる。

誰もが野生動植物を違法取引から守る取り組みに貢献することができる。

野生生物犯罪を通報する

野生生物犯罪が疑われる場合はいつでも直属の上司に通報し、所属機関の手順に従う必要がある。正しい通報方法がわからない場合は、上司に尋ねること。



空港のホットライン番号

各空港にはさまざまな機関やホットライン番号がある。以下は各航空会社／空港の重要な番号を書いておく。

空港

税関

警察

野生生物局

動物検疫所

空港警備

WILDSCAN

種の同定と対応

WildScanは、ASEAN野生生物執行ネットワーク(ASEAN-WEN)のためにFreelandが開発した公式ツールで、種の同定と対応のための効果的かつ包括的なアプリケーションである。WildScanには350以上の絶滅危惧種と保護種の写真や重要情報が収められている。WildScanは法執行機関や一般市民が保護動物を素早く識別し、匿名で犯罪を通報するのに役立つ。このアプリは多言語に対応しており、無料で利用できる。(日本未提供)



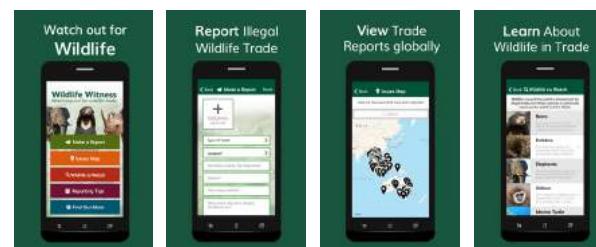
WILDLIFE WITNESS APP

野生生物犯罪を通報する

Wildlife WitnessはTRAFFICの世界的な野生生物犯罪のデータベースに貢献しており、専門家の分析を用いて、一見ランダムに発生しているかのように見える野生生物犯罪を関連付け、取引ハブ、ルート、連携している犯罪者集団が相互に結びついている全体像を描く。

英語、インドネシア語、タイ語に対応し、iPhoneでもAndroidでも無料でダウンロードできる。ダウンロードはどこでもできるが、通報できるのは今のところ東南アジアとオーストラリアのみである。

使い方は非常に簡単で、野生生物犯罪の事象を通報するには、写真を撮り、場所を伝え、通報を送信する。



野生生物の違法取引阻止に向けた包括的アプローチ

野生生物の違法取引を撲滅するには、さまざまな最前線での努力を要する包括的アプローチが必要である。

重要な要素は普及啓発である。ROUTESパートナーシップの各団体は、多くの絶滅危惧種の密猟に拍車をかけている野生生物製品の需要を減らすべく、大規模なキャンペーンを実施している。



アジア諸国での象牙需要削減

象牙の需要を減らすために、中国、タイ、ベトナムで展開されたFreelandによるキャンペーン。著名な人物を起用してメッセージを発信、中国本土では20,000以上の場所で掲示された。



羽田空港にてCIQキャンペーン

税関、入国管理、検疫とWWFによる旅客向け注意喚起



税関作成の野生生物の密輸防止啓発ポスター



東京税関とWWF/TRAFFICによる 訪日観光客向けの象牙問題に関する 意識向上イベント

連携する

空港を通じた野生生物不正取引の撲滅

ROUTESパートナーシップはUSAIDから資金援助を受けた、革新的かつ柔軟なプログラムである。国際的な保護団体や各国政府がひとつになり、輸送・物流業界のサービスを悪用した野生生物の不正取引増加に対処する。

ROUTESパートナーの各団体は航空会社及び空港職員を対象とした啓発ワークショップを実施し、空港で起こる野生生物の不正取引と闘うため、熟練講師を派遣し、包括的な解決策を提供する幅広い経験を伝えている。

近年、空港で行われるトレーニングは、野生生物の密輸が多発するアフリカやアジアの空港の多くで実施されている。

ROUTESパートナーの活動の詳細についてはROUTESのウェブサイト：www.routespartnership.orgを参照のこと。



中国
ケニア
ベトナム

2021

January						
S	M	T	W	T	F	S
			1	2		
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

February						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

March						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

April						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

May						
S	M	T	W	T	F	S
	1					
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

June						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

July						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

September						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3			
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
31						

October						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2				
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

November						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

December						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

覚えておくべき日付

メモ

その他重要な問い合わせ先情報

メモ

その他重要な問い合わせ先情報

メモ

その他重要な問い合わせ先情報

メモ

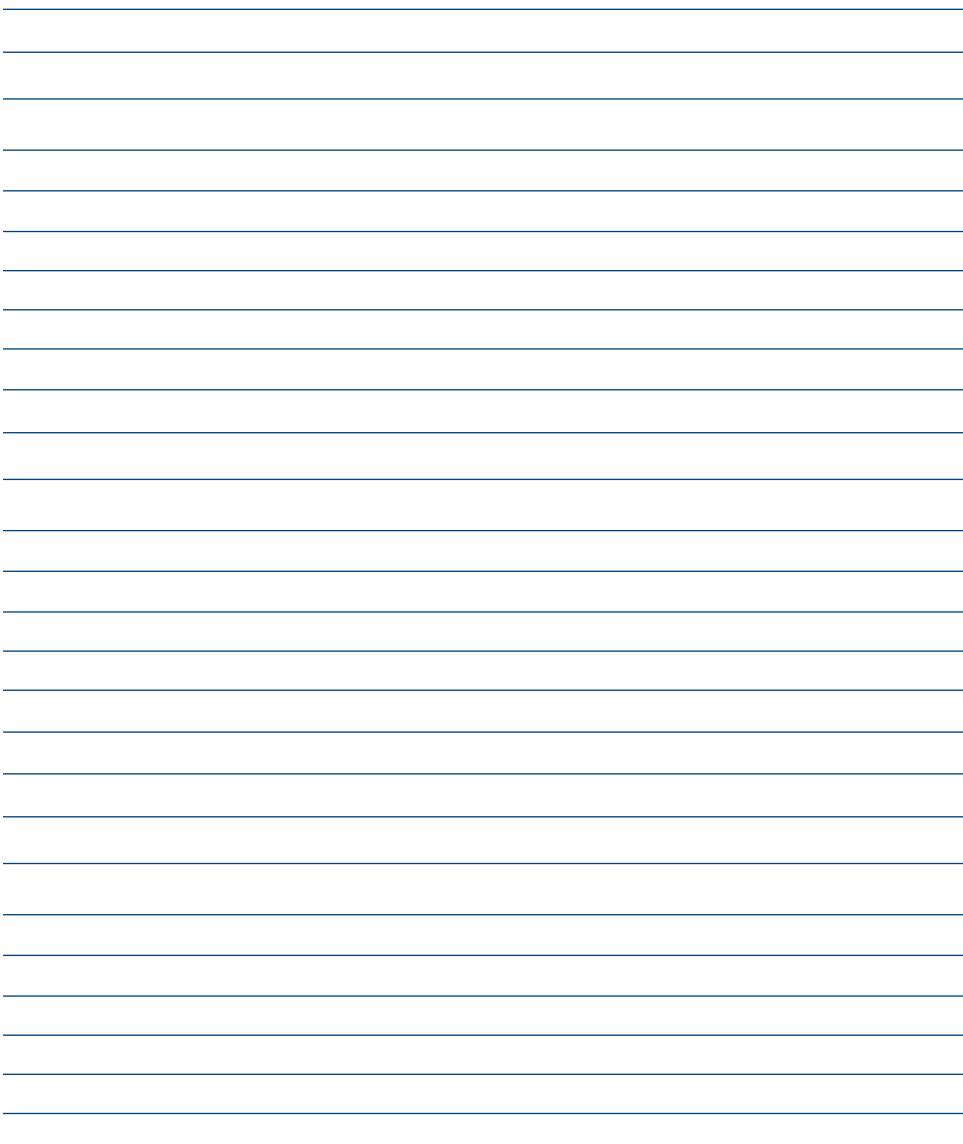
その他重要な問い合わせ先情報

メモ

その他重要な問い合わせ先情報

メモ

その他重要な問い合わせ先情報



写真提供

Special thanks to the many people and organizations that contributed photos to this handbook.

- Cover & back page by Erico Hiller
1 Freeland
2 Freeland
3 Matthew Pritchett/ Freeland
4 Freeland
5 Sumeet Moghe, distributed under a CC-BY-SA 3.0 license
6 Djatmiko, distributed under a CC-BY-SA 3.0 license
7 James McGregor
8 Thomas-Jaehnel, distributed under a CC-BY-SA 2.0 license
9 US Fish and Wildlife Service and Royal Thai Police
10 Rbbrrdckybk/dreamstime.com
11 Hong Kong Customs
12 Australian Customs and Border Protection Service, distributed under a CC by 3.0 AU license
13 Australian Customs and Border Protection Service, distributed under a CC by 3.0 AU license
14 Freeland
15 Australian Customs and Border Protection Service, distributed under a CC by 3.0 AU license
16 UK border Agency CITES Team
17 TRAFFIC
18 Hong Kong Customs
19 Wildlife Checkpoint Suvarnabhumi Airport
20 Matthew Pritchett/ Freeland
21 Bernard Dupont, distributed under a CC BY-SA 2.0 license
22 Orchi, distributed under a CC-BY-SA 3.0 license
23 WWF-Canon/Ian CRAVEN
24 Thomas-Jaehnel, distributed under a CC-BY-SA 2.0 license
25 Kayleigh Ghiot
26 Eddie, distributed under a CC BY-SA 2.0 license
27 David Harring, distributed under a CC-BY-SA 3.0 license
28 Black Pearl, distributed under a CC BY-SA 2.0 license
29 TJ Lin, distributed under a CC-BY-SA 3.0 license
Training and campaign photograph by TRAFFIC and Freeland

Icons made by:

Freeland

[Freepik](http://www.freepik.com)

<http://www.flaticon.com/authors/ochan> is distributed under a CC by 3.0 license
<http://www.flaticon.com/authors/daniel-bruno> is distributed under a CC by 3.0

<http://www.flaticon.com/authors/daniel-bruce> is distributed under a CC by 3.0 license
<http://www.flaticon.com/authors/plainicon> Plainicon is distributed under a CC by 3.0 license

<http://www.flaticon.com/authors/platonic> Flaticon is distributed under a CC by 3.0 license.

<http://www.flaticon.com/authors/katarina-stefanikova> Katarina Stefanikova is distributed under a CC BY 3.0 license

<http://www.flaticon.com/authors/zurb> Zurb is distributed under a CC by 3.0 license

<http://www.flaticon.com/authors/bogdan-rosu> Bogdan Rosu is distributed under a CC by 3.0 license.



関連する問い合わせ先

本ハンドブックは、野生生物違法取引において航空輸送担当職員の意識向上を目的に開発されたトレーニング資料をサポートするものである。

トレーニング資料へのアクセスを希望する場合、あるいは ROUTES パートナーシップについて詳しく知りたい場合は、www.routespartnership.org を参照のこと。

USAID: www.usaid.gov

FREE LAND: www.freeland.org

IATA: www.iata.org

Traffic: www.traffic.org (Japan: www.traffic.org/japan)

Reducing Opportunities for Unlawful Transport of Endangered Species (ROUTES)

空港トレーニングハンドブック：野生生物の不正取引撲滅のため法執行機関を支援する

輸送機関職員の能力向上に向けて

世界中のあらゆる野生生物が次世代に向けて確実に存続できるよう、すぐ行動する必要がある。

